

第4章 計画推進のしくみ

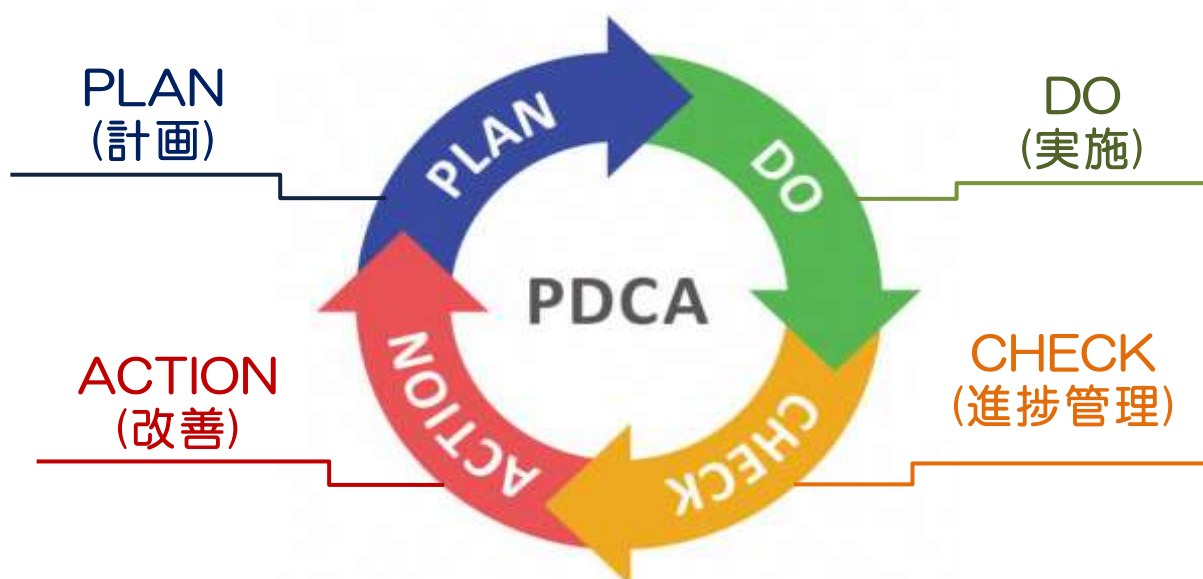
1 読書活動推進の取組の進捗管理と評価

第4次計画では、計画の推進を通して、子どもが読書に親しむ機会の拡充と諸条件の整備・充実を図ることにより、基本理念の実現に努め、子どもの読書活動に係る取組を推進することを目的として策定しています。

本計画を実行性のあるものにしていくために、読書活動推進の取組の進捗管理^{※17}と評価について、下記のとおり実施します。

■進捗管理の手法

第4次計画の読書活動推進の取組における進捗管理の手法は、下記のPDCA(Plan-Do-Check-Action)サイクル^{※18}を活用して実施します。



17 進捗管理：施策・事業（取組）のめざそう値を把握することにより、施策・事業（取組）の進捗度合いを確認すること。

18 PDCAサイクル：施策・事業（取組）に必要な要素である Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Action（改善）の頭文字を取ったもの。企画から改善までを一貫した流れで捉え、各要素を循環させることで、施策・事業（取組）の改善につなげる考え。

■ 評価の方法

① 評価の対象

読書活動推進の取組に係る評価の対象は、13 の指標及びめざそう値の達成度を評価します。

② 評価の手法

指標ごとの実績値の情報取得については、各指標を担当する課・機関において、定期的（原則、毎年度 1 回程度）に実施します。

評価の実施は、那覇市子どもの読書活動推進委員会で評価を行い、社会教育委員の会議で評価についての意見聴取を行います。

計画の途中で、必要があれば指標の見直し等を行うものとします。

③ 評価の実施時期

評価の実施時期は、令和 8（2026）年度に評価を行います。前年度（令和 7 年度）の実績値をもとに、めざそう値の達成状況をもって評価をします。

④ 評価の公表

評価の実施結果については、市ホームページ等を通して公表します。

■ 読書活動推進の取組みの評価結果の活用

読書活動推進の取組の評価結果については、各指標を担当する課・機関での取組において、継続または見直し・改善・廃止等を検討する際に活用し、読書活動の推進が図られるよう努めていきます。



2 計画の推進に向けて

■ 関係機関の連携・強化

子どもの読書活動を取り巻く情勢は時代とともに変化してきました。近年の情報通信手段の普及による環境の変化に対応しながらも、関係課・地域・学校・家庭などが、それぞれの役割を認識し、相互に連携を深め、読書活動の推進に関わる情報共有ができる体制の整備に取り組みます。

■ 社会的気運の醸成

市民一人ひとりが子どもの読書に対する理解と関心を深め、その重要性を認識することで、読書活動を積極的に推進することができます。

4月23日の「子ども読書の日」をはじめとする読書活動に関する啓発の場を積極的に設け、市民への読書の関心を高め、本計画の推進を図っていきます。

